

Race reports - JBMXF大東建託シリーズ 第1戦 岡山大会 -

日時:2026年4月12日

天気:晴れ

人数:6人

目標:優勝すること

結果:1-1-1



表彰式

【オフシーズンについて】

今オフは、スタートフォームと意識の改良を重点的に行いました。

去年はスタート時の意識として腹筋に力を入れながら構えていました。

この意識だと腹筋をロックしてしまって、上手く力が使えてないことがわかり、今シーズンからはスタート時の意識として、腹圧を意識するようにしました。

昨シーズンまで、スタートのミスが目立っていたので今シーズンはスタートでのミスを減らして、出来るだけ多くの試合で勝ちたいと思います。

【前日練習】

このコースは1年ぶりに走るコースなので、1本目はコブのかたちと加速する場所を入念にチェックしました。前日の練習は風が強かったため、大きいジャンプは飛ばないと判断して第1、3、4ストレートを重点的に練習しました。

第3ストレートは金曜日に降った雨の影響が残っており、コースが少し荒れていたためバックサイド(※1)にタイヤを綺麗に合わせていても少し弾かれてしまう感じがあったので、ハンドルを握る力を抜かないように走ることを心がけました。

最終ストレートは雨の影響がラインによって違い、影響の少ないラインがあったのでそこを通れるようにコーナーでのライン取り(※2)を考えて走りました。

スタートはオフシーズンでやってきたことを意識して行いました。

練習の動画を振り返って観るともう少し漕げそうなところや、プッシュの甘いところが見つかったので当日練習でその確認をして、レースに挑めたらいいなと思いました。

【当日練習】

この日は予報通り風が弱かったので前日練習でできなかった第2ストレートと前日練習で気になった点を重点的に練習しました。

やりたい練習はできて、感覚も良かったのでレースも平常心で挑めたらいいなと思いました。

【レース】

1本目

スタートは腹圧を意識して上手く決めることができ、前に出ることができました。第1ストレートの3個目は後輪が地面に付くか付かないかのギリギリのところをせめてジャンプしました。第2ストレートは練習通り

低く飛び、第3ストレートはハンドルを握る力を抜かないように走りました。第4ストレートは後ろから誰もきていないのが分かったので少し力を抜いて走り、1位でゴールしました。

2本目

第2ストレートまで1本目と同じようにきました。

第3ストレートで何か面白いことができたらいいなと思っていて、最後のジャンプの手前までロール※3しようと思っておりましたが、上手くいかず、途中で前輪が落ちてしまいました。その影響で減速してしまい、後ろの選手との差が縮まってしまいました。最終ストレートではしっかり加速させることを意識して走り、そのまま逃げ切り、1位でゴールしました。

3本目

2本目までは今ひとつ波に乗り切れていない感じだったので3本目はより集中して挑みました。

スタートは1, 2本目同様の意識でスタートし、第1ストレートをトップで駆け抜け、第2ストレートはもっと低く飛べるように地面の反発をもらいながら上手く押し込んで飛べたと思います。

第3ストレート以降は最後まで丁寧に走ることに意識を集中させて走り、3本目も1位でゴールできました。ゴールタイムは36.513秒で1本目から1秒近くタイムを削れたので良かったです。



↑ 毎年のように大会の時は風が強くて飛べないことが多いコースで一番大きいジャンプ。今年はコンディション良く、レースで飛ぶことができて嬉しかった。



第一ストレートで前に。ここで前に出ることによって勝つ確率は格段に上がる。

【レースを終えて】

今大会は参加人数が極端に少なく久しぶりに3モト合計システム(※4)でのレースだったので、ミスができないプレッシャーを感じながらも3本とも落ち着いてレースができたのは良かったと思います。

また、今オフで重点的にやってきたことを活かしてスタートでのミスが1本も無かったのも良かったです。

次のレースは名古屋市中村区の名古屋ケイリンBMXで行われるJOC Junior Olympic Cupです。僕が普段から練習しているホームトラックでもあるので、日頃の練習の成果をこのレースで発揮し、優勝したいと思います。

※1 バックサイド:コブから降りる面のこと。

※2 ライン取り:走る場所のこと。

※3 ロール:前輪を上げて加速させる技術。

※4 3モト合計システム:3本の順位ポイントを合計して勝敗を決定するシステム。

例:1本目-1位=1pt,2本目-2位=2pt,3本目-1位=1pt 合計4pt

この合計ポイントが少ない順に順位が決まる。一番少ない選手が1位となる。

1本のミスが命取りとなるため、1発勝負とは違った難しさがある。

合計が同ポイントの場合は、3本目の順位が上位の選手が最終順位も上位となる。